

陶磁と緑の町
はさみ

こんにちは!

議会です



笑顔いっぱいの高齢者大学

No. 105

平成21年2月13日発行

議案審議	着工延期は不安だが 進出企業の受け入れ態勢は万全に	2P
臨時会・賛否表	地産地消の町を目指し! 農業法人による農家レストランの建設へ	4P
委員会報告	行動する委員会 所管事務調査報告	5P
一般質問	9人が町政を質す! 新人議員2人も初参戦!	6P
私もひとこと		12P

会期中に予期せぬ発表 長崎キヤノン 着工延期

12月定例会
12月16日～19日

議案審議

平成20年度一般会計及び特別会計の補正予算や
条例の一部改正など9議案が提案され、慎重な審査
の結果、原案どおり可決しました。

また、請願1件、陳情2件については、各委員会
に付託されました。

着工延期は不安だが 受け皿は万全に

定例会二日目。一般質
問を中断して、キヤノン
側から町長に行われた緊
急の報告。それは1月着
工、12月操業開始を延期
するとの報告でした。

世界的な経済不況を背
景にした、デジタルカメ
ラの需要が低迷している
ことから計画が見直され
たものです。

キヤノン進出で町が明
るく盛り上がりつついた

けに大変残念な報告でし
たが、事業中止や内定者
の採用取り消しという最
悪の事態は避けられそう
です。

今後変更はないとは
言えませんが、経済の動
向を見据え一日も早い長
崎キヤノンの着工、さら
には新たな企業進出が実
現する日に備え、受け皿
の整備を図っていかなく
ればなりません。



マスコミ各社が長崎キヤノン着工延期を伝えた

企業立地促進条例の一部改正

雇用奨励金の交付対象についての記載
が明確でなかったため、対象となる者
について明記するものです。

水道条例の一部改正

県が造成した波佐見工業団地に立地す
る企業が工業用に使用する水道につい
ては、当分の間水道で供給することにな
ります。

料金の種別に工業用を追加する必要が
あるため改正されたものです。

公共下水道事業

受益者負担金に関する条例の一部改正

工業団地に立地する大規模企業（1万
㎡以上）に対応するために改正されたも
のです。
1㎡あたり100円となります。

南小学校プール改修工事請負契約の変更

プール周辺の整備で、雨水排水の改善
を図るための工事及びフェンス工事にお
いて基礎部分のコンクリート補強を追加
することなどによるものです。



夏が待ち遠しい

今回の増加額
207万6900円
変更後の契約金額
6486万6900円

大切な子どもを守るために

国民健康保険条例の一部改正

1月から「産科医療補償制度」がはじまりました。

この制度は、分娩時のなんらかの理由によって重度の脳性麻痺となった赤ちゃんなど家族の経済的負担を速やかに補償するものです。

平成21年1月以降に生まれた赤ちゃんから対象となり、所定の要件を満たした場合、一時金600万円と分割金2400万円が補償金として支払われます。

産科医療の崩壊を一刻も早く阻止するために、民間の損害保険を活用して立ち上げられた制度です。

また、原因分析によって将来の同種事例の防止に役立つ情報を提供することなどにより、紛争の防止・早期解決及び産科医療の質の向上が図られます。

この制度に係る新たな保険料（掛金）が生じることになりますが、現行の出産育児一時金の35万円に3万円を上限として加算するために改正されたものです。

一般会計補正予算

老人福祉や障害者福祉関係の措置、給付費並びに扶助費等の増額をはじめ、各種事務事業の執行状況や、国・県に関する補助等の実績見込みに合わせて補正されました。

国民健康保険事業特別会計補正予算

実績見込みによる退職者被保険者等療養給付費の減額及び県調整交付金事業の見直しによる補正です。

介護保険事業特別会計補正予算

介護保険システム改修に伴う委託料の計上と年度内見込み額による介護給付費の補正です。

補正予算の主な内容

一般会計(第3号)	3033万9千円を追加
老人福祉費・障害者福祉費	2255万9千円
児童福祉総務費	334万7千円
浄化槽設置費補助金	△ 231万6千円
急傾斜地崩壊対策事業費負担金	330万 円
公共下水道事業特別会計繰出金	△ 116万9千円
中学校技術棟耐震補強工事など	121万7千円
国民健康保険事業特別会計(第3号)	4062万8千円を減額
療養給付に要する経費	△3800万 円
介護保険事業特別会計(第2号)	331万8千円を追加
介護保険システム変更委託料	331万8千円
公共下水道事業特別会計(第2号)	116万9千円を減額
浄化センター維持管理業務委託料	△ 119万7千円

皆さんからの

陳情 声 は 請願

郵政民営化法の見直しに関する請願書

請願者 田ノ頭郷 安武睦裕
紹介議員 福田洋吉議員

郵便、貯金、保険の郵政三事業が一体のサービスとして運営されるよう、必要な措置を講じる意見書の提出を求める請願で、総務委員会に付託されました。

介護療養病床廃止中止を求める

意見書採択を求める陳情書

陳情者 長崎県保険医協会
会長 千々岩秀夫

介護療養病床廃止の計画を中止する意見書の提出を求める陳情で、文教厚生委員会に付託されました。

地域医療と国立病院の充実に関する陳情書

陳情者 全日本国立医療労働組合
川棚支部支部長 福田 誠

長崎神経医療センターの存続拡充や、医師・看護師の増員を行うよう意見書の提出を求める陳情で、文教厚生委員会に付託されました。

反対 討論
中村 與弘 議員

3054万円を追加

一般会計補正予算(第2号)

第7回
臨時会
11月28日
一般会計補正予算(第2号) 他

地産地消の町を目指し！
農業法人による
農家レストランの建設へ

温泉地域の復興計画の中で、町の基幹産業である農業を活かすための「農家レストラン」構想が持ち上がり、新たなアグリビジネスを展開するために、農業法人において「農家レストラン」の建設が計画されました。

この「農家レストラン」を活用することにより、地元農産物を供給するシステムを構築し、地域農業の活性化を促し、町の農業振興を図ろうとするものです。県の補助事業ですが、町の負担となる509万円は「ふるさと創生基金」が活用されます。

ふるさと創生基金の趣旨と違うのではないか。あくまでも温泉を掘る。あるいは、桜づつみをつくる。そういうところの基金であると思う。

財源が無ければ起債を起こしてでもその財源をつくるべきだ。

アイディアを出して使いなさいという趣旨から少しばかりズレている。

波佐見町のみき今後の発展のために、基金の活用をしていきたいと思う。



企業誘致対策調査特別委員会を設置

企業誘致対策に関する調査を行なうため、特別委員会を設置しました。

- 委員長 大久保 進
副委員長 原 昭 治
委員 川 今 松 武
田 井 尾 林 村
保 泰 幸 一 龍
則 照 光 夫 宏

賛否表

○は賛成 ●は反対

議案	議決の結果	表決数 賛成：反対	議席番号																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
一般会計補正予算(第2号)	可決	14:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 企業誘致対策調査特別委員会の設置に関する決議	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第3号)	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 他特別会計補正予算 3件	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
波佐見町企業立地促進条例の一部改正	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
波佐見町水道条例の一部改正	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
波佐見町公共下水道事業受益者負担金に関する条例の一部改正	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
波佐見町国民健康保険条例の一部改正	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
南小学校プール改修工事請負契約の変更	可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

行動する委員会

所管事務調査報告

水道料金は

産業建設委員会

起債償還のピークを過ぎれば
引き下げを検討すべき

産業振興対策は
◆上水道事業
起債償還は、平成21年度にピークを迎え、元利合計約1億5900万円になる。しかし、平成25年度には8000万円程度まで減少する。
工業団地の関係を見据えながら水道料金の引き下げを検討するべきでは

ないか。
平成24年度から工業団地関連で工業用水事業の計画があるが、方法などについて早急に検討の必要がある。
◆下水道事業
新たに2池目の処理施設を造成し、3月の運転開始に向け整備中である。完成すると日量一池あ

たり1600tで、3200tの処理能力になる。
◆新泉源掘削工事
泉質の湯湯検査ということで湯量、湯温、ガス発生など今後具体的な調査が行われる。
一日あたり400人の入場者を見込む温泉施設整備が計画されている。

◆町道・県道の整備状況
工業団地関連道路は、西側に21年度から23年度にかけて480m、幅員7mを県が整備する予定である。
県道飛瀬・榑木場有田線の区間、総延長1・4km、幅員16mも整備される予定。

教育現場の現状は

文教厚生委員会

各学校の現状を調査
特色ある学校づくりと課題

各学校の現状と課題
◆東小学校
・老朽化に伴う校内放送施設の改修
・下水道工事に伴う校庭トイレの水洗化
・給食運搬リフトの改修
・校庭の木の剪定伐採
◆中央小学校
「全児童を全職員で育てる」という思いで教育

にあたってはいる。
・中庭の人工芝の張替え
・教室などのカーペットの業者による清掃
・図書室の冷暖房化
◆南小学校
・「早ね・早おき、しっかり朝ごはん運動」や「食育」の実践
・地域コミュニティをつくるための学校公開

・プール改修工事に伴う道路側の側壁工事
・校庭の前面改修
◆中学校
・図書室の冷暖房化と司書の配置
・校舎外壁剥離の修理
・グラウンドの改修及びトイレの必要性
・体育館の外壁の穴の修理

各学校から出された問題点などについては、十分に精査し、必要があることに関しては対応していかねければならない。
少子化に伴う地域間格差や児童数問題など取り組むべき課題である。

中期財政計画は

総務委員会

厳しさを増す地方財政
更なる健全運営を

財政状況を分析
◆歳入
町税は、町内の景気低迷が継続状況で、計画額を下回る数値になっている。
地方交付税は三位一体改革が実施され、大幅な削減がなされたため、予定より見込んだ額を大きく下回った。

地方債は、発行額を抑え、地方債残高を早めに減額することを基本にしていたが、大幅に遅れる形になった。
◆歳出
人件費は、21年度までに職員数を10%削減する目標に対し、18年度時点で13・9%減、約2億円の削減となっている。

公債費は、通常債では発行額を極力抑さえ、公債費負担も計画に沿って推移している。

金融危機に伴う景気悪化で税収の落ち込みが厳しく、国はもとより、地方財政は更なる厳しさを増すと想定される。
今後の本町の財政運営として、今までのような財源確保は望めないことを覚悟の上で、更なる健全運営を図っていかなくてはならない。

質問

ただ
町政を質す!



武村龍宏議員

ボーリング取水による 地域の井戸水への影響調査は

障害者、高齢者の 住みやすい公営住宅整備事業の計画は

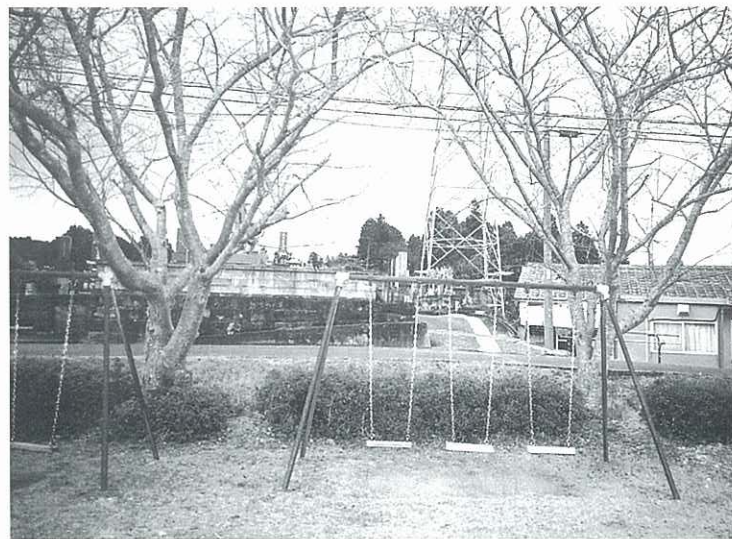
問 高齢者自立支援等に配慮した公営住宅整備事業を施策して、民生費・衛生費等費用の縮減を図るべきでは。

町長 山崎団地完了後に引き続き鹿山団地建て替えを計画する。高齢者の身体機能に対応したバリアフリーでの設計・整備で、安全・安心、良質な町営住宅の供給を検討していく。

建設課長 入居者の38%以上が60歳以上の人となっている。自立支援を促すバリアフリーを基本に進めていく思いでいる。

問 町全体の均衡ある住宅立地や地域別に宅地の整備を推進するべきだ。総合的に定住促進や人口増を図るなどして1万7千人目標人口に向けた町独自の施策が必要と思つ。固定資産税減免、水道本管引き入れ費用補助金といったことでの奨励措置を図ることを考えてはどうか。

町長 地方税法で減免措置がある。町の財政状況で、独自の減免措置は難しいと思つ。企業誘致、地場産業振興といったこ



待たれる整備 (鹿山団地) 事業

とが人口増に効果的だと思つ。

問 ボーリングして工業団地に1200tの水を供給予定と言われる。給水量需要予測、水道施設事業計画等明示して事業を図り、必要な財源など明確にすべきでは。

町長 需要予測、事業費については不確定要素もあり、正確な予測数値を示すことはできない。

年度末までに水道ビジョンを作成し概要を示す。**問** 地域の井戸水に影響を及ぼすといったことについてはどうか。先に行

つている調査の取水目標は100t程度だと思つが、1200t取水する場合の調査はどうしたのか。

上下水道課長 短時間での影響、数日間取水を続けた場合等十分確認しながら取水できるか判断しなければいけないと思つている。

問 3年、5年取水後も地域に及ぼす影響調査を継続していくのか。

上下水道課長 取水計画を立てる上で、留意して進めていきたい。

若い世代に多い! 女性のがん 毎年受診できないか

父子家庭にも福祉医療費助成を

災害時の安全は?



松田宇子議員

内市町の状況等を考慮して実施していきたい。

問 国の指針に合わせ即実行は如何なものか。

女性のがん死亡率のトップを占め、発症率も30代〜60代と若年層に多く母親の発症により子どもがうつ病の発症率も高く、深刻な社会問題でもある。乳腺炎の痛みは乳がんの進行度に診られる症状と痛みが似ていることから、早期発見の重要性を見極め、更に検診を深めていくべきでは。

保健衛生課長 厚生労働省の諮問機関であるがん健診検討会において、発症率等を検証。専門的な権威ある諮問機関であり、受診間隔を延長しても有効性は保持されているという国の報告と指針を基に実施、県下の状況を踏まえ十分に検討する。

問 第三子以降の出産の誕生祝金の枠内で、第一子二子にも配分し支給ができないか。

保健衛生課長 有意義とは思つが条例等を基に支給。今後の課題として頭の中に入れておく。**問** 父子家庭の子どもへ

問 婦人がん検診は、他のがん検診と同様毎年受診できないか。

町長 がん予防重点教育及びがん検診の指針に基づき実施。今後の受診頻度と有効性との関係や県

どうなる合併！

工業団地、ボートピア 交通対策、環境問題は



藤川法男議員

問 平成17年に三町合併派と佐世保市合併派に住民投票等を実施する約束はどつなつたのか。
町長 三町派、佐世保市派双方の趣旨を尊重したが、その時点ではまだ環

境条件が整っておらず、町は大混乱し、町民同士の溝が深まるので実施しなかつた。
また、当時の自治会長会でも意見を聞いた。

問 去年の9月に三町合併協議会設置に対し、約2600人もの署名が集まり、改めて町民により将来の道筋が示されたがどう考えるか。

町長 私の考えや意見書等は議会に提出しており、決して三町合併を否定しないが、期間的に非常に厳しい状況と思う。

問 単独と三町合併と比較した場合、効果はどちらがあるのか。

合併した場合、三町の議員定数削減や町長を初めとする三役等、様々な削減案があるがどの様に思うか。

町長 本町は、単独で当分行う中、職員数が類似団体で全国一少なく徹底した行革を進めている。

しかし、合併した市や町は、果たしてどれだけの削減ができたのか疑問だ。

やはりリーダーシップと職員の気概と思う。



横枕交差点

また、環境条件により変わってくる。

交通対策、環境問題は

問 長崎キヤノン進出を町民だれもが大きな期待をしている。

その効果はどうか。

町長 長崎キヤノン進出を町民だれもが大きな期待をしている。

その効果はどうか。
町長 長崎キヤノンは、現在、従業員約370人採用内定しており、関連企業では、30代、40代の方々の雇用が見込まれる。

また、固定資産税、法人税、住民税等が期待されると思う。

問 ボートピアと工業団地等の交通対策や環境問題など、地元住民の不安をどう思うか。

町長 地域説明会の折にも環境整備を優先的に考えるとしており、計画の中に住民の皆さんの意見を反映できるように進めて行きたい。

も福祉医療費の助成支援を平等性をもって負担の軽減を図ってほしい。

町長 県の制度では対象外となっている。

今後、対象となるよう会議等を通し県に働きかける。

問 ろう唾者の避難警報の伝達方法をFM専用防災ラジオの有効性に着目し島原にて調査した。

防災無線の本局に地上デジタル技術を導入する

ことで、多機能にわたり応用範囲も拡大され利用化も進むと判断されるが、デジタル化の導入は。

また、避難所の案内板の設置はできないか。

総務課長 災害時の要援護者支援マニュアルを策定し人力によって避難を促す方法を進めている。

案内板の設置は単独では厳しいが、宝くじ等の支援制度等を導入できないか今後検討していく。



家族の健康 安心の笑顔



松尾道代議員

来年度に予算計上を！ 配食サービス 町営住宅への町道整備 ケーブルテレビの推進

問 高齢者や弱者に光を当て、自立できない人を支援していくのが行政であり政治であると思う。配食サービスに関しては何度も質問しており、本町は遅れていると認識

され協議検討すると答弁されているが、どのように検討したのか。
町長 実施するにはまず委託先が大事。今回「波佐見温泉ファーム」が農家レストランを建設され、配食サービスについても計画されているようである。
具体的な協議は行っていないが更に検討を進めていきたい。
問 民間に仕事を下ろすことは、町内の事業者に大変喜ばれることと思う。希望される方に一日も早く、声かけとお弁当を届けてほしい。
委託先は広く周知し、事業者と十分な協議を行い公平・公正な審査で決定して頂きたい。
町長 詰めのシステムやルールをキチンとして、公平・公正に進めていきたいと思っている。

問 緊急車両が入れない区間がある町道は現在20路線で、中尾、皿山の各町営住宅へも入れない状況、入居者は常に不安を抱えておられる。早急な対策が必要では

町営工業団地造成計画は 日本経済の動向をよく見極め 慎重な上にも慎重に



福田洋吉議員

十分か。
町長 県等と協議の結果、関連会社数社が後年進出することが考えられることや、県内に内陸型工業団地が不足していることから、将来を見据え町営工業団地計画を進めている。分譲面積は3〜5haで資金は、起債を活用するよう適地調査を実施している。工業用水については、用水をあまり使わない企業の誘致を進めるよう県と協議をしている。
水資源調査等を踏まえ用水の確保に努める。
問 キヤノンマテリアルは日田工業団地造成を先送りすると報道されたが、長崎キヤノンの3年後の2000人正社員体制は計画どおりか。関連企業の進出に陰りはないか。町営工業団地の計画は日本経済の動向をよく見極め慎重に対処するべきではないか。
町長 キヤノンの公式発表は21年4月以降1000人以上雇用といわれている。関連企業については株式会社テクノが進出決定。21年12月キヤノンの操業開始で他の関連企



福田議員の一般質問の後、キヤノン側から着工・操業延期の報告がなされた

業も進出してくるものと判断している。町営工業団地は20年度適地決定、21年度着手。県道縦貫線の進捗によっては24年完成と想定されているが、世界的景気減退が進む中、再度県などとも十分検討を行い着手する。
問 意思疎通を図るため対等な立場で定期的な協議できるよう、覚書を交わすべきではないか。
町長 覚書とか言うことでなく、いつでも話が出来る。そういう窓口が創設され頻繁に話はできています。文書に書くとか覚書とかどうかと言う感じがする。
商工企画課長 今後、キヤノンと町と環境保全協定を締結する。その間に双方誠意を持って話し合いをすることを掲げてあるので話し合える場合は常に開かれていると理解している。



お元気ですか！ 夕食で～す！

町長 皿山住宅のUターン場所は借地として借りていきたい。
 中尾住宅は現道の拡幅整備は大変難しく困難な状況である。
 橋の谷から入ることは方法としては考えられるが、整備費用が非常に高くなり、他の事業に影響が出てくるので苦慮している。

しかし救急車・消防車の行ける状況は必要。
 NHK共聴地区は全ての世帯の移行が前提となる。
町長 現在およそ3500世帯が接続可能だが加入率は48%であり、原因を直視すべき状況。
町長 もう少し検討する。ケーブルテレビに関しては、町民に同じ情報を届けるために、民間の力の及ばない所には支援の方法を考えるべきではないか。

問 鳥獣被害防止対策について、イノシシが増え、田畑等への被害が広がっている。徹底した対策をとるべきと思うが。
町長 本年2月に施行された鳥獣被害防止特措法



松林一夫議員

どうする鳥獣被害防止対策

温泉商店街周辺の道路整備を優先的に進めるべきでは

問 鳥獣被害防止対策に、イノシシが増え、田畑等への被害が広がっている。徹底した対策をとるべきと思うが。
町長 本年2月に施行された鳥獣被害防止特措法

問 全国的に地産地消が進んでいる。本町の取り組みは。
町長 平成19年に地産地消推進計画を策定し、その計画内容の実現に取り組む充実に向けて推進している。今後、特産品の利用促進や新規作物導入と産地づくり等の取り組みを進め活動推進と育成支援に努めたい。

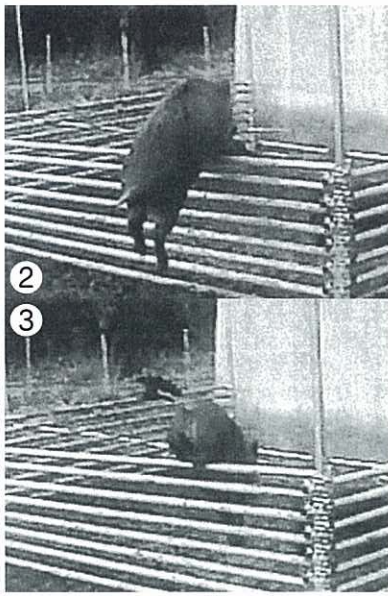
問 全国的に地産地消が進んでいる。本町の取り組みは。
町長 平成19年に地産地消推進計画を策定し、その計画内容の実現に取り組む充実に向けて推進している。今後、特産品の利用促進や新規作物導入と産地づくり等の取り組みを進め活動推進と育成支援に努めたい。

問 折郷付近の整備が急がれると思う。また、温泉施設も計画され、その周辺の道路整備をどのように進める考えか。
町長 県道については、基本的に町の優先順位を考慮され、厳しい県の道

問 折郷付近の整備が急がれると思う。また、温泉施設も計画され、その周辺の道路整備をどのように進める考えか。
町長 県道については、基本的に町の優先順位を考慮され、厳しい県の道

イノシシの身体能力

イノシシは助走なしで1.2m以上の柵を跳び越えることができます。よじ登ることのできる柵であれば2mの高さも乗り越えます。また一方、地面から20cmの間隙があれば、成獣でも地面を掘らなくぐり抜けることができます。



問 折郷付近の整備が急がれると思う。また、温泉施設も計画され、その周辺の道路整備をどのように進める考えか。
町長 県道については、基本的に町の優先順位を考慮され、厳しい県の道

問 折郷付近の整備が急がれると思う。また、温泉施設も計画され、その周辺の道路整備をどのように進める考えか。
町長 県道については、基本的に町の優先順位を考慮され、厳しい県の道

問 折郷付近の整備が急がれると思う。また、温泉施設も計画され、その周辺の道路整備をどのように進める考えか。
町長 県道については、基本的に町の優先順位を考慮され、厳しい県の道



原 昭治議員

中央小学校 中庭の芝生化は

工業団地周辺の安全対策は万全か

問 中央小学校中庭の人工芝張替えの要望があるが、環境に良い安全な天然芝に張替えたほうが児童のためになるのではないか。

教育長 仮に天然芝に張替えられた場合、管理上の問題、上履きと雨天後の利用など、さらには、張替えの費用も相当かかると予想され、天然芝の張替えは考えていない。

問 今回ひどく傷んだところの修繕費として70万円の見込みがある。人工芝に全面張替えの場合1㎡あたり1万円、1000㎡あたり100万円かかる。人工芝が古くなると、大きな経費がかかるのではないかと心配している。経費も安い天然芝に替えたほうが良いのではないかと心配している。

問 工事期間が予定していけば1月末までだが、団地周辺の安全対策は万全か。



工業団地周辺の安全対策は万全か

商工企画課長 今、仕上げの段階で取り付け道路と外周の管理道路のフェンス工事と上水道管、工業用水管の布設が主たるものになっていき、業者も万全を期して、また、県の公社も毎日現場を監督している。

問 造成中の安全管理は万全なのか。

商工企画課長 造成工事について、全体は本間組と坂口・トモダで3社によるJVが主体であり、中心的な役割を担っている。

現場事務所の建設に大林組が入っており、当然それに関する部分については、ミーティングを常にされ、安全管理面も協議されている。

問 行政改革について、職員の業務改革及び職員数の削減計画は。

町長 業務の見直しによる職員の削減を図り、人件費の削減に取り組んできた。

職員数の削減計画は

世界不況の中 窯業界への支援策は



太田一彦議員

問 前例主義を破って、時間外手当を減らすこと。具体的には遅番制を取り入れたらどうか。

総務課長 これだけ職員を減らしていけば、一人に対する仕事の量というのは、かなり増えてきており、どうしても勤務時間内での仕事が終わらない部分もある。

そういったものを一つひとつ検証しながら、人件費、時間外手当を含めて、削減の傾向を進めていきたい。

問 非常に厳しい業況の中、窯業への新たな支援策や支援事業等の考えはないか。

町長 急激な原油、原料価格等の高騰が続き、窯業界をはじめ商工業者は十分な価格転嫁を行なうことが難しく、厳しい経営環境に置かれている。関係団体や金融機関の意見等を聞き、町独自の支援策等を検討したい。

歩道上の危険標識の撤去を



中村與弘議員

生活支援は

問 国は四大家族で、父母各1万2千円、子どもも各2万円、子どもを育てる手当てとして3万6千円の計10万円の支給を

しようとしている。町は、町としては何が出来るか。町民が皆使うのは水なので、町の高料金（220円/ト）の水道水を半額にしての生活支援はどうか。キャノンには同じ水道水を工業用水と称して60円/トで供給しようとしている。

町長 上水道事業は町民の方に安全で安心な水を安定して供給することを使命としている。平成20年度にかけ、2カ年で水道ビジョンを策定している。21年度が起債の償還額のピークを迎えるので、22、23年頃に水道料金の検討を行うのが適当であると考えている。

町民福祉は

問 町で掘削していた温泉源が見つかった。温泉施設や一連の箱物は公の施設として町が設置し、入浴から福祉バスまでそれぞれを分担して、地方自治法244条の趣旨を生かし指定管理者制度の導入により民間活用こそが、町民への福祉対策向上に生かされると考えられるが。



歩道の上にある危険物

町長 今回計画されている波佐見温泉は、これまでの運営面等の反省点で踏まえ民間の資金で、民間の運営によって進められることが望ましいと判断した。

問 県道1号線の歩道上の中央にある町の観光標識が危険物となっている現状を一考してもらいたい。

商工企画課長 21年度予算に計上して、早急に撤去する方向で担当課としては考えている。

街灯の推進は

商工企画課長 現在街路灯の改修の要望は、西ノ原地区と宿の県道4号線だけの整備は事業採算としては非常に厳しい。

問 この度の不景気は、100年に一度の世界的な不況と言われている。過去、誰も味わった事のないような非常に厳しい状況が予想される。

戦後の高度成長期を支えてきた本町の窯業界に對してどのようなことができるのか。

商工企画課長 県が今回特別にセーフティネットでの貸付を始めた。50億円の枠が12月で、

すべて満たされた。県は、さらに50億円の上積みをして、100億円の枠でいくという状況である。

21年度の予算編成に向けて、関係団体、金融機関のいろんな状況を聞きながら、場合によっては3月の補正の関係で必要になってくるものがあるば、対処していくべき事と考えている。



これからが行革本番！

私もひとこと



折敷瀬郷

太田 優子

三人の子どもたちが小さい頃は無我夢中で、かわいいとか感じる間もないくらい子育てに追われていた。数年前実家のある東京で、バスに乗った。

生後数ヶ月の長男を抱っこし、二歳の次女の手を引き、五歳の長女を隣に歩かせ、もう片手にはベビーカーと荷物を持って。

バスに乗ってから、小銭のないことに気付いた。

運転手さんも、迷惑顔で「後で呼ぶので待ってて」とのこと。

運賃に気を取られながらも後ろの空いた座席にやつとの思いで座った。

しばらくして「前に来て下さい」と運転席から呼び出されたのだが、さっと立って行けるはずもなく困っている、付近にいた金髪の若い男の子が、今行ける状況にないことを伝えてきてくれた。

頼んだわけでもないのになんて親切なんだろうと胸が熱くなった。

終点に着き降りる準備をしていると、後ろにいた初老の婦人が、「小銭ないんですよ。どうぞこれ使って」とさり気なくお金を差し出した。

私はびっくりしたのと同時に感動で涙が溢れてお礼の言葉もまともに言えなかった。

子育て中は大変と感ずることも多いが、周りの親切で救われる。

一人で子育てしているような気でしたが、周囲の温かいまなざしに心から感謝した。

その後着いたデパートで、また嬉しい言葉を頂いた。「お子さん、どうか大切に育ててね」と。その老婦人にも子育てへのエールを頂いた。小さな親切、一言がこんなにも人を勇気付け温かくしてくれる。

この事が随分私を励ましてくれた。私もこの地に根を下ろし、勇気を出して一歩でも皆さんと一緒に歩んで行きたい。



次回の定例会は 3月上旬 からの予定です。

編集後記

季節も寒から暖へと緩やかに移行行く中、梅の花のつぼみも膨らみ春の香便りが待たれます。最近、食育の情報を書く中で、孤食化や朝ごはん抜きの子どもたちが年々増加していると厚生労働省の調査報告に胸が痛みます。

「食事は生きる原点」といわれるように、食べ物で性格や行動に変化が見られ、特に子どもの発育には朝ごはんは不可欠との報告もなされています。早起きの習慣を兼ね合いながら、親子で作る具だくさんのおみそ汁、体も温まり朝の会話が弾みます。

今回も、お茶の間に議会の生の声が届くように、ひとりでも多くの皆様にご愛読頂きたいとの熱い思いを込め、編集作業も順調に進みました。

これからも、町民の皆さんと議会との信頼の絆を結ぶ、大切な機関紙として適正な情報の発信に努めて参ります。ご意見やご要望をお待ちします。

松田 宇子

議長 松添 一道

副委員長 松尾 道代

委員 松田 宇子

委員 今井 泰照

委員 尾上 和孝

委員 藤川 法男

委員 川田 保則



久しぶりの大雪 (1月25日)